

おぢか 議会 だより

第 92 号
2015. 7. 3

特集 おどもは町の宝物

座談会 ただいま子育て奮闘中・	2
平成 27 年第 2 回定例会開催	6
老人措置費で紛糾（一般会計補正予算）・	8
一般質問は 3 人登壇	12
読者投稿 六島の島おこし（小金丸さん奮闘中）・	16
一般質問に模擬公聴会	20

編集 小値賀町議会 広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111

特集

子どもは小値賀の宝

広報委員長との
座談会

—子育て最前線—

「子育て世代に聞く」パート1

昔から言われた言葉ですが、子は宝です。人口減少社会においては、地域の宝と
の実感が増してきます。議会だよりでは、これから数回にわたり地域創生の中心課
題であるこの問題をシリーズ化して取り上げてみたいと思います。



聞き手 宮崎広報委員会委員長
ゲスト 稲森美智子さん・3つ子育て奮闘中
(中村在住・農業・一ターソン家族)

田川志帆さん・双子含む5人の子育て中
(柳在住・夫は公務員)

アシント 土川広報委員

小値賀での子育てはどう
ですか？

【田川】 結婚して9年目になり
ます。

【稲森】 小値賀に来て満8年にな
り、5年目で子どもが
生まれました。
子どもが生まれ、生活
が子ども中心になりました。
た。

子どもは4人程度欲し
いと思っていましたの
で、3人生まれたときは、
もう一人と思っていたの
ですが、急に5人になり
ました。(笑)

生まれた子どもが三つ
子と言う事で大変なん
ですが、気持ちは幸せで
す。

双子・三つ子の出産とい
うことで心配はなかった
ですか？

【稲森】 とても不安だったの
ですが、近くの人が本当
の家族のように接してく
れ

【田川】 出産一カ月前から佐世
保の病院に管理入院でし
たので心配はなかったで
すね。
ただ、出産に対して旦那
が、なかなか仕事を休
む事が出来ませんでした

神的にはチョット不安で
した。
小値賀に産婦人科も必
要と思いますが、小値賀
には助産師さんの資格
を持った人が居るので、
もっと活動してくれたら
いざと言うときに良いと
思います。
佐世保の病院にも早め

に行かないと時化とかの
心配もありましたしね。
【稲森】 私と同じような不安は
ありました。



稲森さんちの3つ子ちゃん。左から心ちゃん、天くん、蘭ちゃん



田川さんちの2つ子ちゃん。
左から、雄士くん、創士くん

生まれてからの心配はど
うでしたか？

【田川】 子どもの病気に関する
ことですね。特に皮膚科
とか耳鼻科とかがないの
が心配でした。
診療所での診察で対応
できない場合は、佐世保
の病院にいかなければな
らず、更に耳鼻科の場合、
「様子を見るため1週間
後に来てください」とい
った場合が経費もかかる
し、船の心配もあるし、
大変です。

【稲森】 私も皮膚科に行かなけ
ればならない時があった
んですけど、1人で3人
連れて行くのは無理が
あったし、主人も仕事を
休んで行く事が出来ない
時期だったので、別の方
にお願いして連れていっ
てもらったんですけど、
連れて行く方の都合もあ
るので、決めた日にいけ
ない時がありました。
1カ月に1度とか、年

に1回でも良いから診療
所に皮膚科と耳鼻科の先
生が来てくれたら子ども
の様子を確かめる事がで
きると思います。
【田川】 私もそう思います。ア
トピーとかも心配ですの
で皮膚科と耳鼻科は必要
だと思いますね。

小値賀では何人の子ど
もを育てる事が理想で
すか？

【田川】 今の子どもの育児に手
が離れると、もう一人欲
しいなとは思ってすけ
どね。
中々、船とかの問題が

稲森さんは小値賀にきて
八年と言う事ですが、た
まには実家に帰るのだ
すか

【稲森】 今年の5月に5年ぶり
に帰ってきました。
私は京都で主人が三重

旧尼忠東店を改修して、交流の場に生まれ変わった「商家尼忠東店」にてのインタビュー



県ですけど、生まれて3ヶ月のとき見て以来だったので、いきなり3歳になってビックリされました。

小値賀で育て良かったと思つことありますか？

【稲森】
素晴らしい自然の中で

伸び伸びと育てられ、子どもにとつても私にとつても良い事だと思ひます。

また、小値賀の人は人情も厚いし、人付き合いも楽しく出来るし、とても暮らしやすいと思ひます。

実家では、便利さはありますが、実家から一歩

でると誰も知らないし、相手も私を知らないの
で、人はたくさんいます
が楽しい訳ではありません。

この町では人口は少ないけれども皆知り合ひ
と言う事でいいと思ひ
ます。

私達が小値賀に来て
ビックリしたのは、小学
生の子ども達から「こん
にちは！」と言われたと
きです。

そのような教育が回り
から必然的に受けている
と思ひ、その中での子育て
は都会では考えられない
ほど素晴らしい環境だ
と感じました。一番、印
象に残っています。

今後とも、皆さんがそのようにして頂き、小値賀の伝統を繋いでください



ね。

【稲森】
そうですね。観光客とか
にも実行したいですね。

今年から幼稚園と保育所が一緒になって「こども園」となりましたが、身の回りで変わったことありますか？

【田川】

この子達はまだ行っていないのですが、保育料が安く？です。ね。(笑)
二人預けたら、二人目を安くしてくれたら良いのに、安くなるのは上の子どもなんです。ね。

学年の違う子ども3人を預けたときに、下の子供が安くなると思つたのに、上の子どもが半額になつて下の子どもはそのままだったんですね。何故なんだろうと思ひました。

子どもが出来ればお金がかかるし、そうすると働く事が必要だし、働く



ためには保育所に入れなければならぬのです。ね。

子どもは欲しいのに、このように高いため躊躇する人もいるのではないのでしょうか。

財政的にも大変なのですが、思い切って、保育料は無料という政策も検討しなければならぬです。ね。

【田川】

そうですね。そうしたらもう一人生んでも(大笑)

【稲森】
こども園になって、月

曜日から金曜日まで保育時間が長くなったのはありがたいのですが、日曜日にも仕事が入ったり地区の共同作業などがあったときとか、私が病気になる時に心配です。で、日曜日に2、3時間でも保育できるような態勢や環境が整えられないのでしょうか？

今までは、お爺さんやお婆さんが同居して、そのような問題はなかったのですが、近年、核家族が増える中で深刻な問題になっています。ね。

【田川】

都会で子育てしている人は本当に大変だと思ひます。ね。私たちは親と同居し親類もいる中で大変だと思つているのに。

保育時間に対しては、午後の延長はありがたいのですが、朝も早出などがある場合、もう少し朝早く保育する方法も必要と思ひます。ね。



もし、都会の人が小値賀で子どもを育てたいとの申し出があったら、どうしたいと思ひますか？

【田川】

環境的には最高と思ひますが、病気の時に責任が持てません。ね。

【稲森】

その病気が軽いのか重いのかも分からないんです。ね。

それでも小値賀は、予防接種とかは親が心配しなくても連絡があるし、本当に子育てす

います。

【稲森】

ここで暮らしたいと、自分達が考えて来たのですから、子ども達も、何故ここを選んだのか分かってくれると思ひます。

私たちは是非高校まではここで育てたいです。島で暮らすのか、都会で暮らすのか判断するのは中学校までは無理だと思ひます。ね。

高校は絶対に存続して
いただきたいですね。

【田川】

まだまだ先の事だと思ひつていますが、中学校までとしたら、上の子どもはあと6年です。本当に早いです。ね。

何か希望があつて中学校で小値賀を出ていくんだつたらまだしも、高校がないからと言う理由で島を出て行くとしたら子どもにとつても残酷です。

高校を残していくため



座談会に参加していただいたみなさん

今回の話の中で、子育ての環境は素晴らしい町であると認識しながら、まだまだ課題が多いことが実感できました。

今後も、今回のような意見を議会活動に活かしていきたいと思ひます。

夜間議会に47人の傍聴者

この10年間で最も多い

平成27年第2回定例会開催

会期は6月18日から23日までの6日間。
初日は、平成24年から始まった6月議会恒例の夜間議会でした。
今回の議会は4年に一度の統一地方選挙後の初の定例会ということで、町民の皆様
の関心も高く、傍聴者は47名。傍聴席（33席）では座りきれず、一部の方は残念ながら
モニター室での傍聴となりました。



夜間議会の傍聴に向かう町民（役場玄関）



まず再選を果たした西町長が所信を表明しました。

新たな気持ちで4年間一生懸命恩返しをしたいとの思いを示し、国境離島新法に関する事、町政の重要事項について考えを述べました。

続いて3人の議員が登壇し、それぞれ、「不慮の災害時の対応について」、「本土との海上交通の改善策について」、「日本遺産の認定と小値賀の

価値を高らしめるための基本姿勢について」の3項目の一般質問を行いました。（記事は、12頁）

会期中、議案は報告が1件、専決処分事項の承認が5件、条例の一部改正案が6件、補正予算案が2件、意見書案1件、決議案1件が上程され、いずれも原案可決しました。

平成27年度小値賀町一般会計補正予算（1号）の老人福祉費に質疑が集中

審議の中で質疑は多岐にわたりましたが、特に平成27年度小値賀町一般会計補正予算について

51万円から52万円に）

③ 平成26年度小値賀町一般会計補正予算（第6号）

・地方交付税の額が年度末に確定したことに伴い、小中学校給食共同調理場建設事業の起債限度額が変更になったことや財源の組かえが主な理由です。

⑤ 平成26年度小値賀町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
・修繕料の変更によるものです。

専決処分の承認

専決処分というのは、

本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方自治法に基づき、町長が議会に代わって処分することです。その後の議会での報告をし、議会の承認を受けるもので、すべて承認となりました。

主な内容は次のとおりです。
① 小値賀町税条例等の一部を改正する条例（地方税法の一部が改正されたことによる）
・ふるさと納税の特例控除額の上限が拡充され、

は、町執行部と議員の間で突っ込んだやりとりが続きました。

その中でも特に質疑が集中したのは民生費の社会福祉費（老人福祉費）「小値賀町シルバーライフサポート給付金」についてです。

この給付金は、昨今の介護保険料等の値上がりにより高齢者の経済的負担が大きくなることから、現行の「敬老祝金」とは別に、所得がある一定の基準額以下の75歳以上の町民に、申請に基づき一律5000円を現金で給付するというものです。

本会議は一旦休会し、

会場を会議室に替えて議員間で自由討議。

町民の代表であるという意識を持つて全員で長時間にわたり活発な意見交換をし、争点を明確にしました。

結局、財政的な面からも恒常的な給付金ではないこと等の附帯決議をし、賛成多数で原案どおり可決されました。（関連記事は8頁）

最後に、国に対する「30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元を求める意見書案」が採択され閉会となりました。

② 小値賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例（国民健康保険法施行令の一部が改正されたことによる）
・国民健康保険税の課税限度額が引き上げられました。（基礎課税額が

また、確定申告せずに寄付金税額控除を受けられる特例ができました。
・固定資産税等の負担調整措置が3年間延長されました。
・今年の4月から、いわゆる新車の軽自動車税が値上げされましたが、燃費性能に比べて一部は軽減されます。
・14年経過した軽自動車には、来年4月から軽自動車税が高くなります。（地球環境維持のための二酸化炭素量を少なくするための措置）
・旧3級品の製造たばこに係る特例税率が来年4月から4年かけて段階的に廃止されます。

② 小値賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例

（国民健康保険法施行令の一部が改正されたことによる）
・国民健康保険税の課税限度額が引き上げられました。（基礎課税額が



平成 27 年度一般会計補正予算（第一号）で民生費に質疑集中 「シルバーライフサポートの給付金は問題が多い」議員間の自由討議でも白熱した議論が・・・

2 億 6640 万円を追加し、予算総額 28 億 3240 万円にする一般会計補正予算（第 1 号）を附帯決議と共に可決

老人措置費のシルバーライフサポート給付金の 225 万円の予算計上に対して、生活が厳しい年金生活者のへの対策はもっと抜本的に取り組むべしと決議

平成 27 年度小値賀町一般会計補正予算（第 1 号）

2 億 6640 万円を増額補正し、予算総額を 28 億 3240 万円に

【主な歳入】		【主な歳出】	
町債	9620 万円	消防費	1 億 6139 万円
国庫支出金	8099 万 8000 円	農林水産業費	3808 万 2000 円
繰入金	7320 万円	総務費	1435 万 3000 円
移動式防災無線のデジタル化、和牛のスマート放牧管理事業などが主なもの			

6 月 19 日に審議した平成 27 年度一般会計補正予算（第一号）は、第 3 款 民生費、第 1 項社会福祉費の「シルバーライフサポート給付金」に質疑が集中しました。

主な質疑

問 支給金額は？

答 1 人 5000 円

問 受給対象者は？

答 75 歳以上で低所得者

問 低所得者とは？

答 年金の受給額 78 万 1000 円未満が対象者になる。

問 何故 75 歳以上支給と考えたのか。

答 満 75 歳で後期高齢者医療制度に移行するが、昨年より保険料が増額され、さらに介護保険料などの増額、及び消費税のアップなどで生活が厳しくなっている分を

問 支給の方法は？

答 まず申請してもらう。申請が無ければ支給しない。申請の折に口座番号を伺い、その口座に振り込むことにしたいと思う。

問 施設に入所している対象者は施設が申請を肩代わりしているのか。

答 あくまでも個人申請が基本だが、施設に

問 支給は現金なのか？

答 計算したもの。地域振興券など検討したが、今回の事業は、後期高齢者医療保険料等の増額により生活が厳しくなっている一定基準以下の公的年金受給者の生活支援を目的としているので、使い勝手のよい現金支給とした。

入っている人が必ずしも申請できないわけではない。（詳しくは要綱に定める）個人への現金支給は問題があるのではないか。他の方法による高齢者対策をするべきではないか。

問 国においても農業関連の補償金などを個人に支給したりしているのでは現金支給は

答 問題ではないと考えている。現金だけをばらまいているわけではない。他の福祉もやっていることはいっぱいある。

問 今回の財源を、若い世代、子どもたちに回すという考えはないのか。お年寄りも喜ぶと思うが。

答 子ども向けの分は別途考えたいと思う。

会議を延会し、自由討議へ

以上のような質疑応答がなされましたが、いくつかの論点が明らかになつたので、議長は自由討議を宣告し、会議を延会としました。

その後、19 日と 22 日にシルバーライフサポート給付金についての議員間の自由討議を行い意見の集約を図りました。

論点は、次のとおりです。

一点目 現金支給の是非についてです。

二点目は、高齢者の生活が困窮しているのを見逃していないのかということです。

三点目は、現金支給以外の方法はないのかです。

論点ごとに意見を出し合い、考えをまとめていきました。

他の事例があるように現金支給は問題がないにしても、選挙時に現金支給の約束をしたとみられるのは、選挙の公正さか



ら疑問があるとの意見や現金が使い勝手がいいのは当たり前だとの意見も出されました。

高齢者の生活が苦しいというが、年に 5000 円で助けになるのかという疑問や、同じ高齢者な

のに支給される者とならない者が出てくることに對して、不公平感が生じるのではないかとこの指摘もありました。

また、現金支給以外の方法を考える方向性について、いろいろな観点から議論しました。

高齢者の現金収入を促すような取り組みをすれば、本当に必要な方々の数が減るはずだという具体的なアイデアも出されました。

二日間の自由討議の結果、現に困っている高齢者を見捨てるわけにはいかないとの意見の集約が図られたものの、現金支給以外の方法を講じることがを促すために、議会の意思として附帯決議をするべきとの意見が出されました。

附帯決議を可決して

議会の意思を表明

シルバーライフサポート給付金には次の懸念材料がある。

まず第一は、個人への現金支給については、基準をしっかりと決めて歯止めをかけないと、際限なく多方面に影響が及び、人気取りのためにあらゆる立場の対象者に支給するような事態が生じないとも限らないということ。

第二は、年金支給開始の件や一定の基準額のはざまにある方々、そして、75 歳との年齢の区切りについて、不公平感が生じないのかということ。

第三は、安易な現金支給により、老人福祉問題に取り組む行政の意欲がそがれて、結果、いつまでも本当の解決につながらない可能性があること。

第四は、高齢者が安心できる対策が講じられた場合は、シルバーライフサポート給付金は必要ではなくなる。



現金を支給するシルバーライフサポート給付金については、恒常的な予算としては認めず、次年度以降の見直しを図るべく、高齢者に対するさらなる具体的な政策を講じる努力をすることを求めるといふ附帯決議を可決した。



あれはどうなった？
ここが聞きたい～この政策はどうか

一般質問

今回は、統一地方選挙後初めての定例会でしたので、選挙に臨んだ熱意そのままに多くの議員の登壇が期待されたところではありました。

また、町民の皆さんの期待も高く、たくさんの傍聴者が夜間議会にお越しいただきました。

今回は3人の議員が登壇し、「思いもよらない災害が起きた時の対応」について、「本土との海上交通の改善策」について、「日本遺産の認定と小値賀の真の価値に対する行政の基本姿勢」について、その課題に取り組む方針や基本姿勢に対する考えについて質しました。

また新たな試みとして、一般質問の終了後に傍聴者の意見を聴取する「模擬公聴会」を実施しました。

初めてのことであり、議場での発言ですから、傍聴者の方々はかなり勇気が必要であったと思います。にもかかわらず、複数の方からのご意見がありましたことをうれしく思います。

一般質問は議会の華です。議員一人一人が常にどのような問題意識を持っているのか、また、どの議員が、町民サイドからの目を常に意識して課題を見つけ小値賀の福祉に結び付けようとしているのかなど、議員個人の議員活動や姿勢をうかがい知る格好の材料となります。注目してください。



町営船「はまゆう」新船建造事業に係る補正予算可決。

平成27年度 小値賀町渡船事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ、1億1400万円を追加し、予算総額を1億7200万円に。

《主な歳入》

町債	9580万円
国庫補助金 (渡船事業費国庫補助金)	1000万円
繰入金	820万円

《主な歳出》

渡船事業費 (はまゆう運航費)	1億1400万円
--------------------	----------

【主な質疑】

問：「はまゆう」の新船建造に関するスケジュールは？

答：8月をめどに入札。本年度内完成を目指している。

問：バリアフリーにするとか、観光客対応の開放的な船も構想にあるのか？

答：乗客を安全に運ぶことが第一。協議会などでの話し合いを尊重したい。

問：どの程度の新船を考えているのか？

答：19トン。乗客数50人程度で試算している。



今定例会で改正された主な条例

小値賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例
政令の改正があり、それに伴って、条例を改正するものです。「被保険者の健康の保持増進のために次に掲げる事業をすることができる」から、「行う」に変える。

小値賀町介護保険条例の一部を改正する条例

法律の改正によるもので、低所得者の第1号保険料を軽減強化するものです。先の改正で低所得者の最低保険料が3万4200円となっていたものを平成27年度から平成29年度までは、2万7370円にするものです。

小値賀町職員定数条例の一部を改正する条例
小値賀町各種委員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

共に、こども園の設置に伴う関係条例の文言変更です。従来の「保育所」の名称を「こども園」に変更。

小値賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例
所得割額を100分の4.6から、100分の5.6に変更。均等割額を1人1万3500円を1万6000円にするものです。

意見書

30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度
2分の1の復元を求める意見書を可決。



【答】西町長
県にも働きかけをして
おりますが、一方で、運

【問】横山弘蔵議員
町長のマニフェストで
もうたっているが、本町
にとって、航路問題は太
変重要な問題であり、町
民の関心事でもある。
現在就航しているフェ
リーなるしおは、老朽化
しており、また、バリア
フリーにもなっていない。
新船の建造について
要望しているようだが、
進捗状況はどうなってい
るのか。
また、高速船の運賃の
軽減について、町単独補
助はできないか。
さらに、ターミナルビ
ルから、乗船口への雨風
を防ぐ通路の整備計画は
ないのか伺う。

行会社への要望を強化し
ました。
平成25年度末になって
フェリーの新建造と高速
船の建造について取組む
意思があることが表明さ
れました。
そこで平成26年9月か
ら九州商船、関係市町、
利用者代表、長崎県が参
加する航路対策協議会上
五島分科会がスタートし
ました。
協議の中で、九州商船
は、最初、高速船を建造
し、その後条件付きで
フェリーなみじクラスの
フェリー建造を考えてい
る旨が示されました。
条件付きと言う事で、
まだまだ不透明なところ
があり、今後は佐世保市
と問題を共有していき、
一方で国境離島新法の制
定による航路問題の進展

に期待しながら、本格的
な解決にあたるよう要望
してまいります。
また、高速船運賃の低
廉化についてはフェリー
も合わせてJR鉄道運賃な
みに減額するよう要望を
続けています。
今後、町単独での補助
についても十分検討させ
て頂きますが、乗船する
理由についても様々な理
由があることから、島民
全員一律に補助すること
は問題があるかと思ひ
ますので、それぞれの事
例により個別に対応を考
えていきます。
フェリー乗降口に至る
通路の整備については、
新船建造にも関わり、船
の大きさから乗降口の位
置も大きく変わる事から
運行会社にフェリー建造
計画を作るよう要請して



横山弘蔵議員

フェリーの新船建造の取組と乗船口に至る通路の整備計画はないのか。運賃の単独補助は？

佐世保市と問題を共有し、新法も視野に入れながら本格的な解決に



いるところです。
航路の改善については
町民と一緒に頑張って島民
のために手立てを尽くし
てまいります。



【問】宮崎良保議員
本年になって、大陸か
らの流れ藻などが小値賀
周辺あるいは一部の漁港
に漂着している。
そのたびに地元の漁師
はその対応に追われて出
漁できない事態が発生し
ている。このような問題
についてどのように対処
するのか伺う。
また、斑の人家火災後
の問題が生じている。
火災の後始末におい
て、被災者の事後回復能
力がなく、そのままの状
態で放置されている。
台風シーズンともなる
と倒壊の恐れもあるの
で、危険家屋として、小
値賀町が整理するなど、
対応策を検討すべきでは
ないか。



斑漁港の流れ藻の除去作業



大陸系アカモクと思われる
流れ藻

【答】西 浩三町長
大陸系のアカモクと思
われる流れ藻が、4月に
は斑漁港内に大量に流れ
込む事態が発生し、小発
動組合が除去していま
す。

こういった状況が発生
した場合、漁業者の自主
回収レベルから始まっ
て、その規模に応じ、関
係者と協議しながら対応
しているところです。
今後、毎年発生するよ

基金の設置については、勉強させていただきたい

流れ藻問題、火災後の消失家屋処理の問題の対応策は？ 急な災害時の対処のため基金設置を考えては？



うであれば、何らかの対
策を県に求めているとい
うと思います。

斑の火災後の家屋の放
置について、同様なケー
スが佐世保市などでもお
こっており、困っていま
す。

法律では、関係者の同
意を取ったうえで、解体
など、代執行等の実際の
な業務を行なうことに
なっています。

今回の件は、地元の役
員の方からも後始末につ
いて相談があり、周辺に
2次災害が及ばないよう
に、地元の人達の協力も
得て屋根瓦を下におろす
などの応急措置をしてい
ます。

【問】宮崎議員
2つの事例のように、
思いもよらない事態が今

後も出てくる可能性があ
る。その様な時に、即座
に対応できる態勢を作る
べきだと考える。
例えば、このような事
態に対応するために、基
金を予め用意しておく
ような考えはないか。

【答】西 町長
お金があるだけでは解
決にならないと思ひま
すし、マンパワー不足の問
題もあります。基金の設
置については、勉強させ
てください。

行政の危機管理対策に
は、厳格な条件整備が必
要です。

過去の事件や他の自治
体のやり方などを参考に
して、国、県の支援など
関係者と、しっかりと協議
していきたいと思ひま
す。

国境離島新法総決起大会

盛会裏に幕を閉じる



議会議事堂より特別号でのご案内に、去る5月30日（土）に小値賀町離島開発総合センターホールで国境離島新法制定総決起大会が行われました。

当日は小雨がばらつくあいにくの天気になりましたが、300人以上の

本島から大きく離れた離島において、多くのハンディを背負いながら生活する厳しさを共有する皆さんが、一堂に会して「国境離島新法」の制定を強く求め、宇久・小

町民が出席されました。また、北村代議士、金子参議院議員、古賀参議院議員、中村知事、田中県議会議長、外間県議、溝口県議、朝長佐世保市長、平岡佐世保市議会議長、白川壱岐市長、町田壱岐市議会議長、野口五島市長、荒尾五島市議会議長、堀江対馬市議会議長、江上新上五島町長、中山新上五島町議会議長、吉住平戸市議会議長ほか、そうそうたるメンバーが一堂に会しました。

それぞれの市町の期成会会長や、各議会の特別委員会委員長、隣の宇久町からの方々など、これほどの人が、小値賀に来島されたことは、初めてではないかと思われるほどです。

最初、4月25日に開催されたのが、対馬市の決起大会、約800人の参加者でした。次が壱岐市で、約1300人の参加者、新上五島町で1900人の参加者、五島市で、2800人の参加者でした。各島々で、盛り上

値賀の決議文を採択して決起大会を終えました。多くの来島者が、朝の高速船で小値賀に入り、午後2時のなるしおで帰るといったハードなものでしたし、五島市・新上五島町は船をチャーターし、陸路で異動後、五島市まで、さらにチャーター船で移動するなど、みなさん、大変な思いで来て頂いたのです。誠にありがたいことです。

国境離島新法制定に向けて一緒にがんばろうと3市2町の思いが、示された一連の決起大会でした。



首相官邸で菅官房長官に新法制定のお願い

いっばんしつもん



【問】立石隆教議員
今年の4月24日に、文化庁が新たに創設した日本遺産に本県からは国境の島「吉岐・対馬 古代からの架け橋」が認定された。

しかし、これに小値賀町が入っていない。

国境の島「古代からの架け橋」は小値賀の特徴そのものであるが、なぜ、長崎県からの申請時に本町が入らなかったのか不思議である。

認定に至る経過の中で、県からの説明会などにおいての本町の姿勢に問題があったのではないか。

小値賀の基本的な価値についての職員の認識が足りないのではないか。

小値賀の貴重な価値や基本的な特徴について、

【答】西 町長
日本遺産は、平成27年度の新規事業として文化庁が創設したものです。が、今回の対馬市・壱岐市・五島市・新上五島町が認定された経緯については、最終的には文化庁と長崎県で協議した結果と聞いています。

意見交換の場合は1回行われ、本町も参加したが、その後は協議の呼びかけもなく、今回の認定になったようです。

今回の認定の内容を見たとときに小値賀が入って

いないことには、私も疑問を持ちました。

今後、問題点について十分検討してまいりま

【答】中川総務課長
このことについては、突然に県北振興局から案内があり、本町から職員が参加しました。

今回のことは、事前の



民俗資料館にある碇石（古代の外国の貿易船の碇、古い時代から小値賀が交易の重要地点であったあかしのひとつ）

準備もする間もなかったこと、本町が平戸諸島に属することなどから、他の行政区域のまとまりの中で小値賀だけ参加するという考えには至らなかったことがあげられます。

世界遺産に事務量とられていたことも事実です。

職員の思いが足りなかったことは反省し、今後に活かしていきます。

【答】浦 教育長
教育委員会としては歴史民俗資料館を核として学校教育や様々なイベント等で発信しています。一層の歴史的価値や景観に見られる生活文化や歴史などを町内外に情報発信していくことが重要であり、町の活性化や振興に活用して行く事が大切と考えます。



立石隆教議員

職員に小値賀の価値の正しい認識が出来るのか。

今後、注視しながら対応を検討していきます



『故郷の島を活力あるものにしたい』
退職後の親父さんの新たなチャレンジ、そしてロマン

人生の余熱を島に 六島に住む小金丸梅夫さんの”島おこし”

JICAに属し、若いうちから海外で生活し、記憶に新しいペルーでの日本大使館占拠事件にも遭遇し、いろいろな経験を積み、国際的に活躍し、退職後にふるさとに戻ってこられて、今、六島で島おこしに取り組んでいる小金丸さんに、投稿していただきました。

—アイデアや情熱が本当にすごい—



六島在住
小金丸梅夫

田舎者の私にとって、定年退職した後も都会にぶら下がって単なる消費者として暮らしていく人生は面白くありません。それよりも帰郷して半農半漁で美味しい食べ物を可能な限り自給自足し、島おこし活動に残りの人生の余熱を燃やすのが、男のロマンと考えています。

何としても故郷を無人島にするわけにはいかないのです！

これまでの人生は国際協力を通して30年間以上日本のために働いてきま

したので、残り人生もやはり日本のために故郷の島おこしに頑張ります。私の故郷六島を4Fの楽しめる島にすべく再開発して行こうと決意しています。

4FのFとはFishing（魚釣り）、Flower（花）、Fruit（果物）、Feeding Animal（家畜飼育）の意味です。

そのために小型船舶操縦1級免許を習得して中古漁船を購入し、漁協と農協の準組合員になりました。

次の目標は民泊か民宿の親父になることです。六島に来てくれるお客さんに、半農半漁の体験

学習を楽しんでもらいたいものです。そのため次のような開発計画を推進していきます。

読者の皆さんにもっといいアイデアがあったら、遠慮なく提案していただきたいものです。



竹林を切り開き、果物類の木を育てているところです

ら、遠慮なく提案していただきたいものです。

（1）段々畑の復旧再生
チェーンソーと芝刈り機で竹林・雑木林と化した段々畑を伐採・開墾していきます。体力と相談しながらマイペースで進めていきます。

（2）防風林の植林
伐採・開墾して再生した段々畑の縁取りに、防風林を一株植えます。防風林としては今のところ六島に自生する藪椿やマサキなどを考えています。

（3）果樹園づくり
防風林を植え日照条件のいいところの段々畑を選び、果物の多種少量生産を行います。民宿客に好きなだけ自由に食べさせるためです。

（4）花を植える
住民の庭先に現存するハイビスカス、ブーゲンビリア、ツツジ、ノーゼンカズラ、それに野生の藪椿などを挿し木繁殖させ、島の観光スポット候補地や農道沿いなどに花を植えていきます。

（5）六島に自生する野生果樹の栽培・加工
子供の頃によく食べたオオイタビ、イヌビワ、グミ、クワを栽培して、ジャムなど農産加工にチャレンジします。これらの野生果樹は国内でもほとんど栽培されておらず、うまく栽培でき宣伝できればいきなり日本一になる可能性もあると思われま

（6）ヤギの飼育
島にあふれる野草と段々畑に植える牧草で、ヤギの飼育を考えています。

昨年9月、1週間だけでしたが、長野県佐久市にある農水省家畜牧場で

（7）山野草の増殖と通信販売
コンピュータを使って調べてみると、山野草が高値で通信販売されていることがわかります。六島にあるマムシ草、しばつげの葉がとれる植物、トベラ、ツバキ、イヌビワ、グミなどの鉢植えが一鉢五百円から数千円で通信販売されています。

で、商売として成り立つ可能性があるのでないかとみています。

（8）エコ・歴史ツーリズム
野首教会は世界遺産候補として、神嶋神社は五島列島最古の神社（704年創建）として、王位石は日本の数少ないパワー・スポットとして全国的に有名になりつつあり、国内や外国からの観光客が増加しつつあります。

英語やスペイン語が話せる民宿親父及び通訳兼ガイドとして、これらの観光スポットへ案内して、ガイド料が稼げるのではないかと考えています。

数年前に、波打ち際にある鳥居、沖の神嶋神社・王位石、野崎港、野首教会、野首港まで単独トレッキングしてみました。

昨年はIT協会のガイドに従って野崎港から王



開墾した跡地に植えられた桑

（9）ヤギの飼育
島にあふれる野草と段々畑に植える牧草で、ヤギの飼育を考えています。

（10）エコ・歴史ツーリズム
野首教会は世界遺産候補として、神嶋神社は五島列島最古の神社（704年創建）として、王位石は日本の数少ないパワー・スポットとして全国的に有名になりつつあり、国内や外国からの観光客が増加しつつあります。



伐採した竹林の跡地

平成 27 年第 2 回定例会（夜間議会）傍聴者アンケート
ま と め

回収率 95, 7% 男女別傍聴者の数 女性 39人
(44/ 配布 46 中) 男性 5人

○傍聴は初めてですか？ はい 25人 いいえ 19人

○一般質問をした議員の数について、どう思いますか？
少ない 4人 多い 0人 ちょうどよい 16人 (未回答 24人)

○一般質問の時間は、長く感じましたか？
はい 15人 いいえ 19人 (未回答 10人)

○質問者等の声はよく聞こえましたか？
はい 41人 いいえ 2人 (未回答 1人)

○今回の傍聴に来るきっかけとなったものは？
回覧 7人 防災無線 1人 各種団体からの呼びかけ 31人
その他 5人

○今回、傍聴者の意見を求めたことについて、どう感じましたか？
おもしろかった 24人 おもしろくなかった 1人
このようなことをする必要はない 3人 その他 5人 (未回答 11人)

【意見の一部】

- *同じ質問の繰り返しはやめた方がよい。
- *前もって質問の通告をしているのだから、明確に理解し、答弁してほしい。
- *一般質問は議員さんの熱意を感じました。
- *専門的な言葉が多い。
- *議会開催告知は、一週間前以上に回覧でできるようにしてほしい。
- *夜の議会は、多くの傍聴者が来やすいため良かった。
- *今回はありがとうございました。今まで傍聴した議会でもっと良かったです。
- *傍聴席からも質問出来てよかった。
- *傍聴者が議会で直接意見を述べられることは、開かれた議会という上では大変意義がある。
- *傍聴席にも質問する時間が持たれたのは、良かったが、別室のモニターでは聞こえなかった。



今回は、多くの方の傍聴がありました。この10年間で一番の傍聴者数です。

夜間議会終了後にアンケートをお願いしました。回答率は95.7%もあり、かつ、記述式の箇所が多いにもかかわらず、たくさんの方に答えていただきました。

幅広い貴重なご意見を頂戴いたしました。厳しい意見も、激励の言葉もあり大変参考になりました。今後の町政及び議会運営に活かしてまいります。

初めての試みである、傍聴席からの意見聴取は、概ね好評でした。今回の結果を参考に、今後、どのようにしていくか検討していきたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。

議会傍聴の方にアンケートをとりました。
いろいろな意見を頂きましたので、今後の参考にさせていただきます。

位石までの往復してみました。まだまだやれると自信がついたので、今後
も健康と体力維持に努
め、神嶋神社参拝最高齢
者の記録作りにチャレン
ジしようかと考えていま
す。

（9） ヨット・クルージング

パソコンで検索すると、中古の安いヨットが写真入りで多数売りに出されています。

六島の漁師人口減少で
ヨットが一隻係留できる

伐採した竹で竹炭をつくります

伐採した竹で竹炭をつくります

スペースは十分あります。ヨット操縦の体験学習できる民宿として宣伝すれば、お客さんは喜んで来てくれるだろうと考え、2年程前に沼津市にあるヨットスクールで15日間の訓練を受けてきました。

(10) 民泊／民宿の建設
理想的な建設場所は島の南西側で標高中腹などです。

そこから水平線から
生まれる朝日と水平線に
沈む夕日が見られ、六島
海峡（六島・野崎島間の

し、雄大な野崎のお山さまを見上げることで

る、オーシャン&サンライズ・サンセット・ビューの見晴らし最高の場所です。

生まれたての朝日が、
水平線から六島の海岸ま

で到達する「黄金色の海上の道」を作り出す自然現象に、常日頃そんな朝日を見たことのない都会住民は必ずや感動するものと思われます。

屋上に小さな露天風呂をつけて、満天の星を見上げながら温泉気分を満喫してもらおうかとも考えています。

民宿の周りには四季折々に花が咲く植物を配置し、体験学習で釣り上げた魚介類をバーベキューで楽しめるようにします。夜はカラオケでも楽しみましょう。

島の住民は世間慣れしてないためか見知らぬ他人の接待が苦手のようですが、私はこれまで国内

生だったので、世間一般の人達や外国人お客さん

との交流を楽しみにしています。

ところが小値賀の建設業者に現地調査してもらったら、直ちに建設不能と宣告されました。車

道がないからそこまで重機や資機材が運べないというのです。

悩んだ結果の次善策として、可能ならば校状状態の旧教員住宅の払い下げ譲渡で代替できないものかと考えています。

(11) 自然学級の開講
夏休みに中高生対象の自然学校を開講できないものかと考えています。
島には児童生徒がいなかったため休校状態で全く活用されていませんが、まだまだ使える校舎と体育館があります。

自然学級の内容として以下のようメニューを考えています。

①野山をハイキングし自

観察して、生態的な知識を得る。

②農作物や家畜に触れてもらう。

③海岸散歩や海中遊泳して、生きた魚介類について勉強する。

る。

⑤フィッシングを楽しむ、釣り上げた魚をさばいて料理して食べる。

⑥私の国際協力体験談とパワー・ポイントで外国農業や異文化へ理解と好奇心を高める。

(12) 世界海洋文学図書館の設置

これまで買い集めた本
が数千冊あり、我家の書

齋にはおさまりきれず納戸などを占領しているため、女房からの苦情が絶えません。

これからは海洋文学中

心に古本を収集して、民
宿の横に小さな図書館を
立てるのが夢です。

六島海峡や五島灘を見

読める贅沢を、お客さんにも味わってもらいたい

と考えています。
黒松林のハンモックで

横になり、潮風に吹かれ
潮騒を聴きながら「潮騒」
や「老人と海」など名作
を読むのは、生涯忘れら

れない思ひ出になるかもしれませぬね。

私自身も図書館にこもって、これまでの国際協力の経験を生かした、執筆活動を続けたいと考えています。

以上、私の民宿・島おこし構想を簡単に書いてみました。一度に一気にやろうとすれば、相当な予算が必要ですが、自己資本は限られていますので、優先順位ややりやすい順に徐々にやっています。



伐採した竹林の跡地

伐採した竹林の跡地

一般質問に対して 傍聴者の意見を聞く

—模擬公聴会を実施—

今回の定例会では新しい試みがなされました。一般質問が終わるたびに、それを傍聴していた方々に感想や意見を求めることです。

小値賀町議会は、「開かれた議会」「町民と共にある議会」をめざして、議会改革にとりくんでいます。それを具体的な形にするために、いろいろ模索しているところで、議会が町民からの意見を聴取する方法のひとつに「公聴会」という制度があります。それに準じるという形で模擬公聴会として実施しました。6月18日の夜7時から



開催された夜間議会には47人もの傍聴希望者が訪れ、33人の傍聴席は満杯で立ち見も出るほどで、それでも議場に入れない方々は、モニターが用意された第一会議室で会議の様子を見守りました。

一般質問の最初のテーマは想定外の事態が生じたときの対処の仕方についてでした。

質問と答弁が終了すると、いったん休憩を取り、傍聴者の意見や感想を求めました。

「災害と認定されれば、お金を支給する方法があるのですか？」との質問が出ました。

2番目の航路に対するテーマについては、質問や答弁の中に頻繁に登場する言葉の意味が分からないので教えてほしいとの申し出がありました。

3番目の日本遺産と小値賀の特徴や宝に対する認識や情報発信の基本姿勢の問題でしたが、「国からの呼びかけだからといって、よくわからないままになんでも飛びつくのはよくないので、今後

も慎重であってほしい」との意見が出されました。

初めての取り組みですから、意見は出ないかもしれないとも思っていたのですが、複数の方からのご発言があり、大変ありがたかったです。

今回の試みは、昨年秋季に実施した婦人会連合会との「議会と語ろう会」の中で、議会傍聴している、「今のやり取りはこ

こが変だとかその考え方は素晴らしいとか、つっこみをいれたくなるのですよね」との発言がきっかけです。

定例会にて取り上げた一般質問のテーマに対して、議員と執行部のやり取りを聞き、町民はどう思ったのか、その場で率直な意見を伺うことは、町民の代表としての議員にとつて十分に参考になることだと判断したからです。

今後、どのように継続していくかは、これから検討していく予定です。傍聴者の皆さんにはアンケートにご協力を頂きました。

その集計は前頁に記載したとおりです。お寄せいただいたご意見を大事にして、今後の議会改革に役立てていきたいと思っています。ありがとうございます。

編集後記

家内は還暦同窓会で宴会中。私は五〇肩が痛い中で編集作業です。

皆の期待が重い。気合を入れての挑戦が辛い。

しかし、みんなが目を通してくれていることを信じ、見やすい紙面作りに奮闘中。

今回の定例会は、多くの傍聴者が来てくれました。

新しい紙面づくりとして、子育て中のお母さんのインタビュー記事を集として載せることにしました。

前例にとらわれることのない議会の活動を、また、町民の生の声を伝えていきたいと思っています。今回参加していただいた皆様に一言。

「ありがとうございます」

そして、読者のみなさん、これからの2年間をよろしく願います。

宮崎良保